

# 農力開発

<http://miyanou.myswan.ne.jp/>



↑ 整列は始業前にきちんと並ぶのは社会に巣立つ高校生なら当たり前！！

農園科では、4月5日に整列・移動の仕方を勉強します。団体行動が出来るように、相手を思いやり、全体をみられるようになってほしいために指導しています。また、圃場までの片道1.5キロを40人安全に移動するためには団体行動が必要不可欠です。入学当初は圃場に着くまでに何度も止められ注意されていましたが、今では立派に整列・移動できるようになりました。一列で行進できることが良いのではなく、みんなで規律を守っていることが良いことだと思います。

夏休みは、ジャガイモの収穫・選別の実習をしました。その際、班長・副班長を決めて、先生から伝えられたことを班長が班員に伝えるなど「リーダー」・「班員」として役割を明確にして実習に取り組みました。組織で動くために必要なスキルは何かなど考え行動していました。反省会で班長は「明確な指示が出せず難しかった。」や「班員にフォローしてもらって助かった。」など班長の立場からの意見が出されました。逆に班員から班長へ「指示がもう少し明確であればスムーズに実習に取り組めた。」など意見が出されました。班員の人たちは自分が班長になったら、明確な指示を出す必要があると考えたようです。みんな、それぞれの立場で行動する大切さと協力してひとつのことに取り組む大切さを学んでいます。



↑ 各班班長が先生からの指示を班員に伝えている様子。効率よく実習を進めて行くために時間を使っています。

## 農業・園芸科

### 「農業と環境」



↑ 移動は一列！私語はなし。遠く目的地に行くなら大勢で。早く行くなら一人で。と言うことわざがありますが、これなら大勢で早く移動できます。

**叱られながら頑張ってます。**

**社会人に向けて失敗の連続からの～成功！！**



↑ 班長から指示が出されています。みんな協力する姿勢が見えています。

～ 投稿募集 ～

農場便りに載せたい記事があれば農場部 川口まで

## 意外な関係 事務と農場の連携で学校が運営されています。

今回は事務室の佐藤さんに農場と事務の関係について意見を聞いてみました。

農場と事務という言葉と並べてみて、一見関係なさそう思われるかもしれませんが、実際に農業高校に勤務してみると家族のようなつながりを感じました。復興途上にある、宮農高だからこそより一層そう感



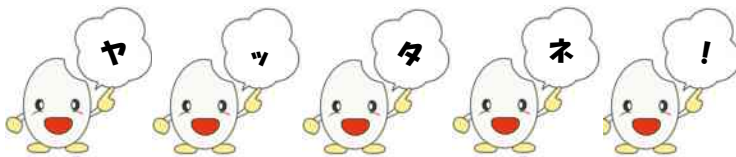
これまでに支援で頂いた機械やバス 感謝して使っている？

じたのかもしれませんが。

復旧復興といっても、農場部または事務部だけでは、何も物事が進みません。お互いが協力し合いながらやってこられたからこそ、現在のなんとか実習（授業）等ができる状態まで仮復旧できたと思います。

農場との関わりとは具体的に、農場に必要な消耗物品・機械・設備類の整備、全国のみなさんからの支援の受け入れや専門的な知識を持った方を招いての講演等、そのほかにもさまざまな活動を行うためにはその分だけ事務処理が生じます。生徒のみなさんの実習等がスムーズに実施されるように、先生方と一緒にサポートしているのです。

## すし米コンテスト・国際大会全国GO (5) 位

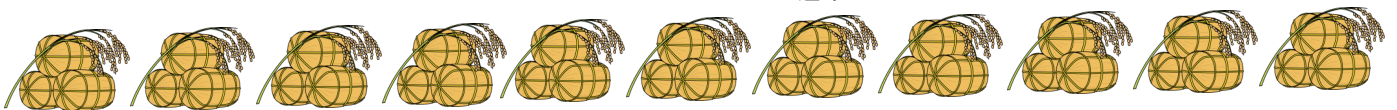
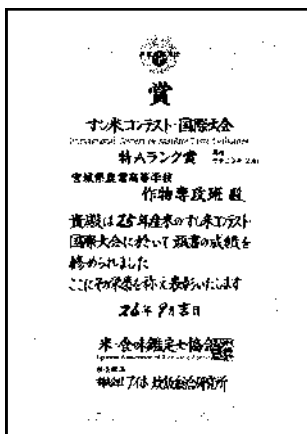


すし米商品から見た総合観察（玄米、白米、すし加工、成形の検査・測定・分析）を審査とし、一般米生産農家と同じ土壌で**全国5位（握りずし・持ち帰りずし）**でした。

それぞれ審査に使われた測定機器は下記のとおりとなります。

- ①精米品質測定器：タンパク質、アミロース老化度チェック
- ②良質米測定器：千粒重測定（1,000粒を計算して重量測定する）
- ③白度計：精米白度測定（基準色からみた白米の白さ測定）
- ④硬度測定：200粒を連続して硬度を計る。
- ⑤精米：白度からみて精米（16段階の精米負荷をかけて計る。）
- ⑥炊飯：700gを炊飯

今後、お寿司屋さんとのコラボもありか！！取組みへGO



## SPH指定校視察～福岡県立福岡農業高等学校～

9月26日（金）福岡県立福岡農業高等学校へ同じSPH指定校として、その様子を拝見してきました。

気づいた点は色々ありますが、今回は1点だけ書きます。

すれ違う生徒みなさん元気に挨拶をしてくれました。

制服や実習着の着用も整っていました。 みなさんはどうですか？